



株式会社エーアンドエー マテリアル



2022年3月期決算説明会

(証券コード： 5391)

2022年6月9日

～当社グループの製品は
日々の暮らしの中で活躍しています～

1. 会社概要
2. 2022年3月期連結業績
および2023年3月期連結業績予想
3. 中長期CSRビジョン(CSR2030)の取組状況
4. 2023中期経営計画の進捗状況
(2021年度～2023年度)

付属資料

- ・ 決算短信等
- ・ 会社案内



会社概要

社名	株式会社エーアンドエーマテリアル	
本店所在地	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号	
創立	1924年3月（大正13年）2000年10月合併（平成12年）	
資本金	38億8千9百万円	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 [コード：5391]	
発行済株式	7,758,907 株（自己株式19,093株除く）	
主要株主	太平洋セメント株式会社	42.42%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5.61%
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	4.34%
	明治安田生命保険相互会社	2.98%
	株式会社三井住友銀行	2.42%
従業員数	871名（連結）、216名（単体）	
拠点	7支店、9営業所、1工場（滋賀工場）、1研究所	
グループ会社等	連結子会社9社	

（2022.3.31現在）



本社ビル
（神奈川県横浜市）

「熱をコントロールする技術」を究めて新しい価値を創出し、安全・安心・快適な社会づくりに貢献します。



(2022.3月期/連結)

建設・建材事業

材料販売

- ・不燃ボード
- ・不燃化粧ボード

工事

- ・吹付耐火被覆
- ・護免火
- ・ボード内装

セグメント別売上比率 **44%**

グループ会社

エーアンドエー工事(株)

- ・建築耐火被覆工事
- ・不燃ボード工事等

関東浅野パイプ(株)

- ・耐火二層管の製造
- ・建設耐火被覆材料の製造

(株)エーアンドエー茨城

- ・不燃ボードの製造

(株)エーアンドエー大阪

- ・不燃ボードの製造

工業製品・エンジニアリング事業

材料販売

- ・プラント・自動車
- ・鉄鋼
- ・船舶

工事

- ・保温
- ・保冷
- ・断熱

セグメント別売上比率 **56%**

グループ会社

アスク・サンシンエンジニアリング(株)

- ・保温保冷断熱工事等

朝日珪酸工業(株)

- ・保温断熱材、トンネル耐火材の製造

(株)アスクテクニカ

- ・摩擦材・シール材の製造販売

アスクテクニカインドネシア

- ・摩擦材の製造販売

アスク沖縄(株)

- ・保温保冷断熱工事等

	顧客・用途	特色
ハイラックフネン (けい酸カルシウム板)	ゼネコン・建材工事店・建材商社 耐火間仕切壁、内装下地、軒天井	軽量で粘り強く衝撃に強い不燃材料 吸放湿による膨張収縮が小さい 国内 シェアNo1
ステンドシリーズ (化粧けい酸カルシウム板)	ゼネコン・建材工事店・建材商社 内装仕上、軒天井	ハイラックの単色化粧板 全48色の抗菌仕様 特殊用途向け多数ラインナップ 国内 シェアNo1

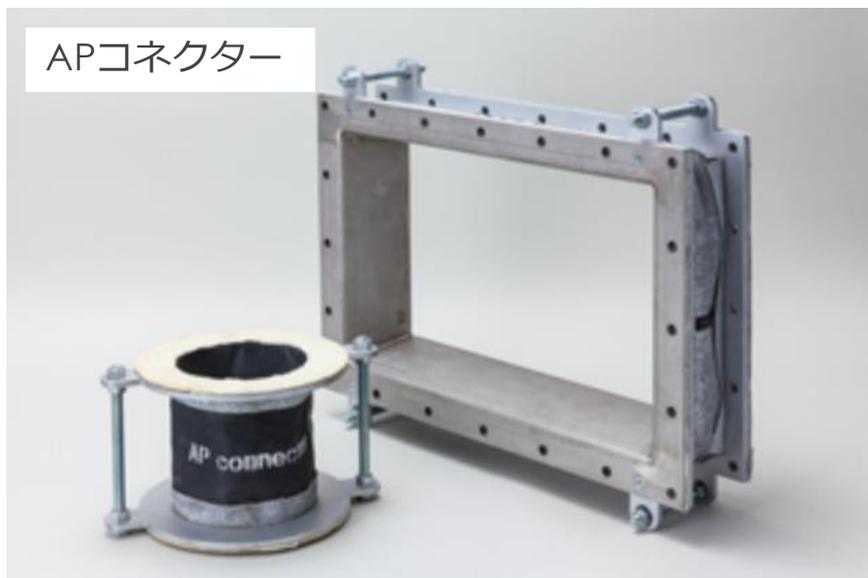


	顧客・用途	特色
エフジーボード	ゼネコン・建材工事店・建材商社 コンサートホール・劇場・音楽室 内壁・間仕切壁・天井・柱	曲面施工が可能 遮音性に優れる 当社オリジナル製品
トンネライト	ゼネコン トンネル専用耐火防護板 シールドトンネル・海底トンネル	1,200℃の耐熱性 R形状も可能 国内 シェアNo1



	顧客・用途	特色
APコネクター	発電所・ボイラー・焼却場 排気ダクト継手	ダクトの変位、振動、応力吸収 国内 シェアNo1
ディスクロール	鉄鋼・ステンレス・ ガラスメーカー 高熱ステンレス搬送ロール 高熱ガラス搬送ロール	炉内の高温(1200℃)に耐える 断熱性を保持

APコネクター



ディスクロール



	顧客・用途	特色
シリカ保温材	発電所・石油化学プラント 配管の保温	高い断熱性能 プラント等の高温配管を保温
ブレーキライニング	自動二輪車メーカー 軽四輪車メーカー ドラムブレーキ	安定した摩擦力 環境負荷物質の低減

シリカ保温材



ブレーキライニング



暮らしの中で活躍する
エーアンドエーマテリアルグループ

トンネル

ビューフィDN
トンネル走行時の視認性を高めます。

ハイラックフレン
不燃のボードで軒裏を守ります。

トンネル
ブレーキワイニング セミメタリックガスケットシート
自動車
自乗車の安全性を高めます。

アクテクター(写真) / スーパーフェザーシリカ
配管の過熱弁を火災から守ります。

タンク
タンク保冷工事
フントの保冷性能を高めます。

トンネル
トンネルライト
トンネルを火災から守ります。

幼稚園

アデッキシリーズ
瓦葺きの不燃内装化提案です。

石油化学工場

タンク

小学校

スタンドシリーズ
カフムの不燃内装化提案です。

工場・倉庫

耐火断熱工事
人を熱(煙)から守ります。

耐火復旧工事
鉄骨建物を火災から守ります。

火力発電所

船舶

配管保冷工事
フント漏れを防ぎます。

断熱工事
冷凍機を保冷します。

コンサートホール

エッジボード
不燃の内装材で音響効果を高めます。

免震建物

防火火(ごめんか)
免震装置を火災から守ります。

製鉄所

ディスクロール(写真) / キルナイト#1000
高層の扉内に導入しながら遮熱性を発揮します。

APコネクター
ダクトの取組を、高い遮熱性によって実現します。

船舶修繕用材料
船の内装や設備などを火災から守ります。



2022年3月期連結業績 および2023年3月期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の影響

工事の延期や中断、新規着工の遅れにより売上高および営業利益は減収減益

◇建設・建材事業

<材販> 民間設備投資が低調に推移し、国内出荷は減少したが、台湾向けは前期の市況低迷の反動もあり、建設需要が回復し、国内出荷の減少を補った

<工事> 着工が遅れていた大型再開発物件の一部が始動する等、回復の兆しが見られたが、首都圏の大型再開発物件をはじめ全国的な大型工事物件の工期遅延が続き減収

◇工業製品・エンジニアリング事業

- <材販>
- ・船舶関連は、国内各造船所の新規建造隻数の落ち込みにより防熱材の出荷が減少
 - ・鉄鋼・非鉄関連では、海外においてアルミ溶融設備向け断熱材の販売が伸長
 - ・プラント関連は、非金属製伸縮継手「A P コネクター」が電力会社向けのメンテナンス工事や新規工事物件で受注が増加
 - ・自動車関連は、車載用半導体部品の供給不足による影響があったが、コロナ禍により生産調整していた製品の反動需要が高まり、国内外で出荷が増加
- <工事>
- プラント向けメンテナンス工事は工期のずれ込みによる影響を受け、減収となったが、大型物流施設断熱外壁パネル工事や大型船舶防熱工事を受注する等、受注環境は回復基調

2022年3月期連結業績および2023年3月期連結業績予想



単位：百万円

	2021年3月期 (実績)		2022年3月期 (予想)		2022年3月期 (実績)	
		前期比		前期比		前期比
売上高	37,204	△13.0%	39,000	4.8%	35,923	△3.4%
営業利益	1,470	△53.8%	1,500	2.0%	1,440	△2.1%
経常利益	1,578	△49.9%	1,500	△5.0%	1,563	△1.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	727	△63.5%	700	△3.8%	958	31.7%

連結貸借対照表



- ・ 収益認識会計基準の適用により流動資産および流動負債が、2,174百万円減少
- ・ 自己資本比率は43.3%と前期比3.8P改善

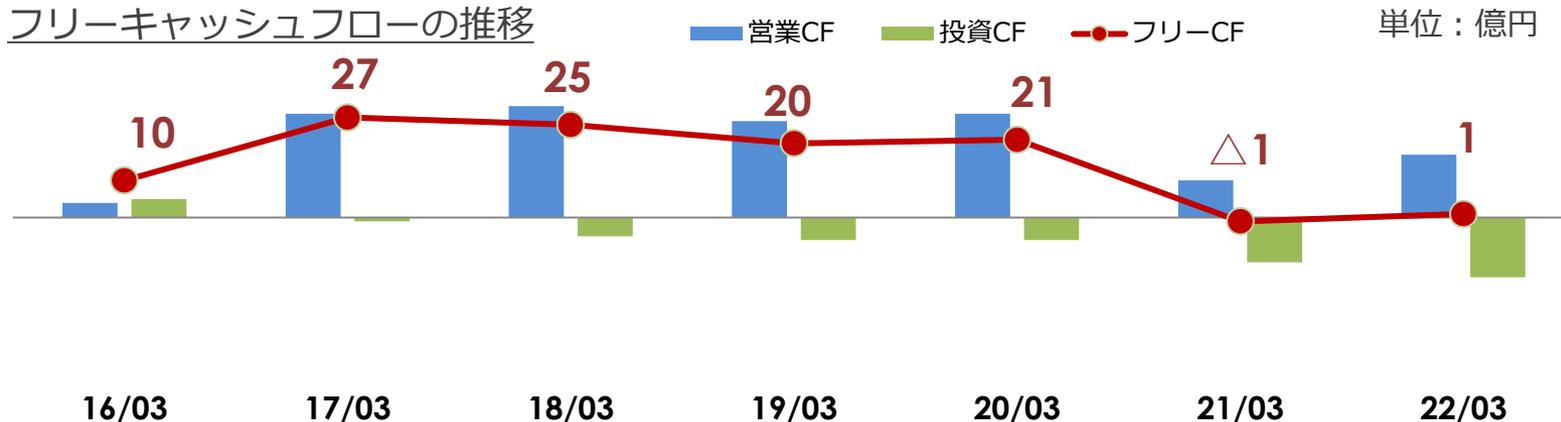
単位：百万円

	2021年3月期末	2022年3月期	増減
流動資産	19,539	17,151	△2,388
固定資産	18,663	19,080	+416
資産合計	38,203	36,231	△1,972
流動負債	15,659	13,801	△1,858
固定負債	7,450	6,753	△698
負債合計	23,110	20,554	△2,556
純資産合計	15,092	15,676	+584
負債純資産合計	38,203	36,231	△1,972
自己資本比率	39.5%	43.3%	+3.8P

単位：百万円

	2021年3月期	2022年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,076	1,741	665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,215	△ 1,654	△438
フリーキャッシュ・フロー	△139	87	226
財務活動によるキャッシュ・フロー	418	△ 113	△531
現金及び現金同等物の期末残高	2,340	2,324	△15

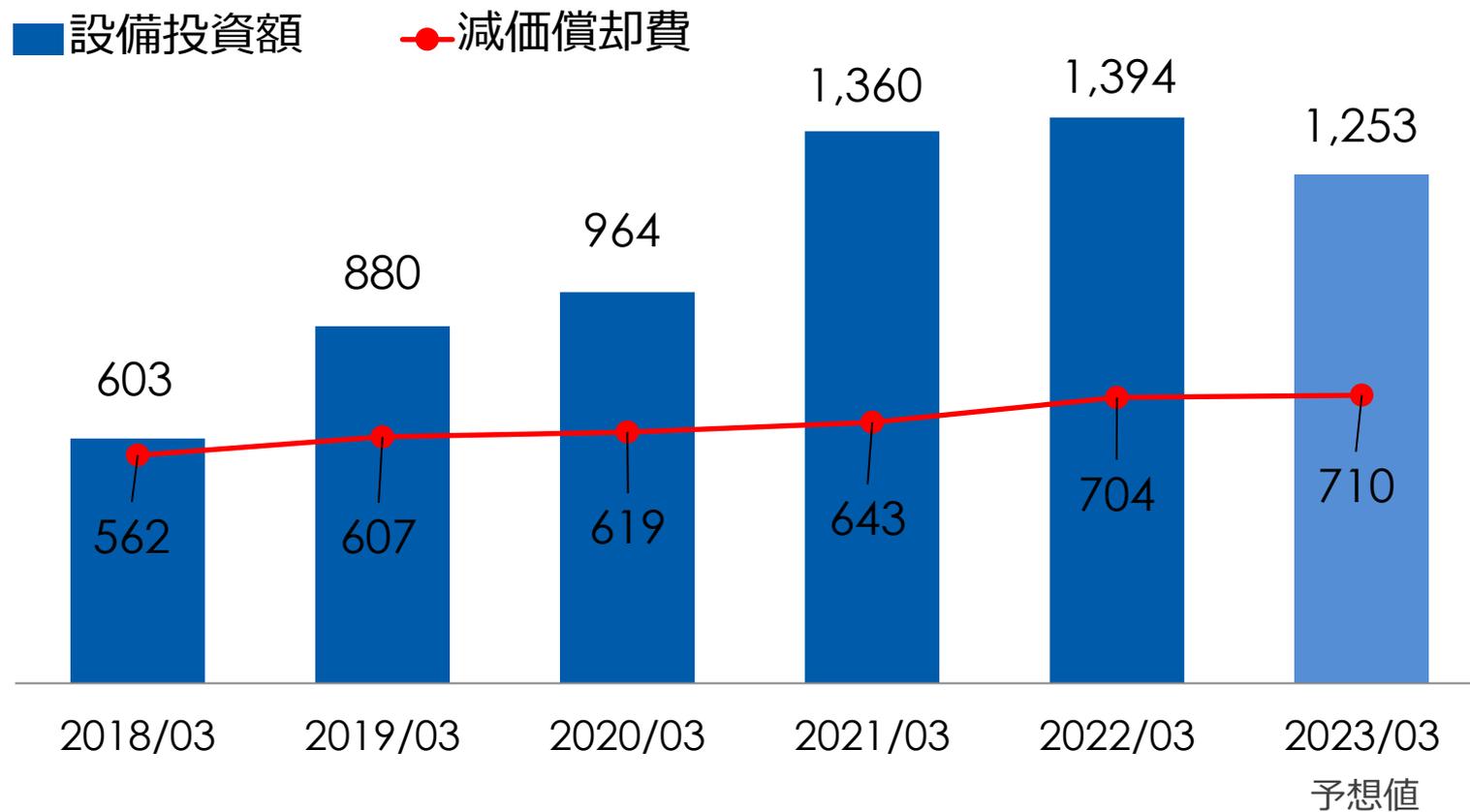
フリーキャッシュフローの推移

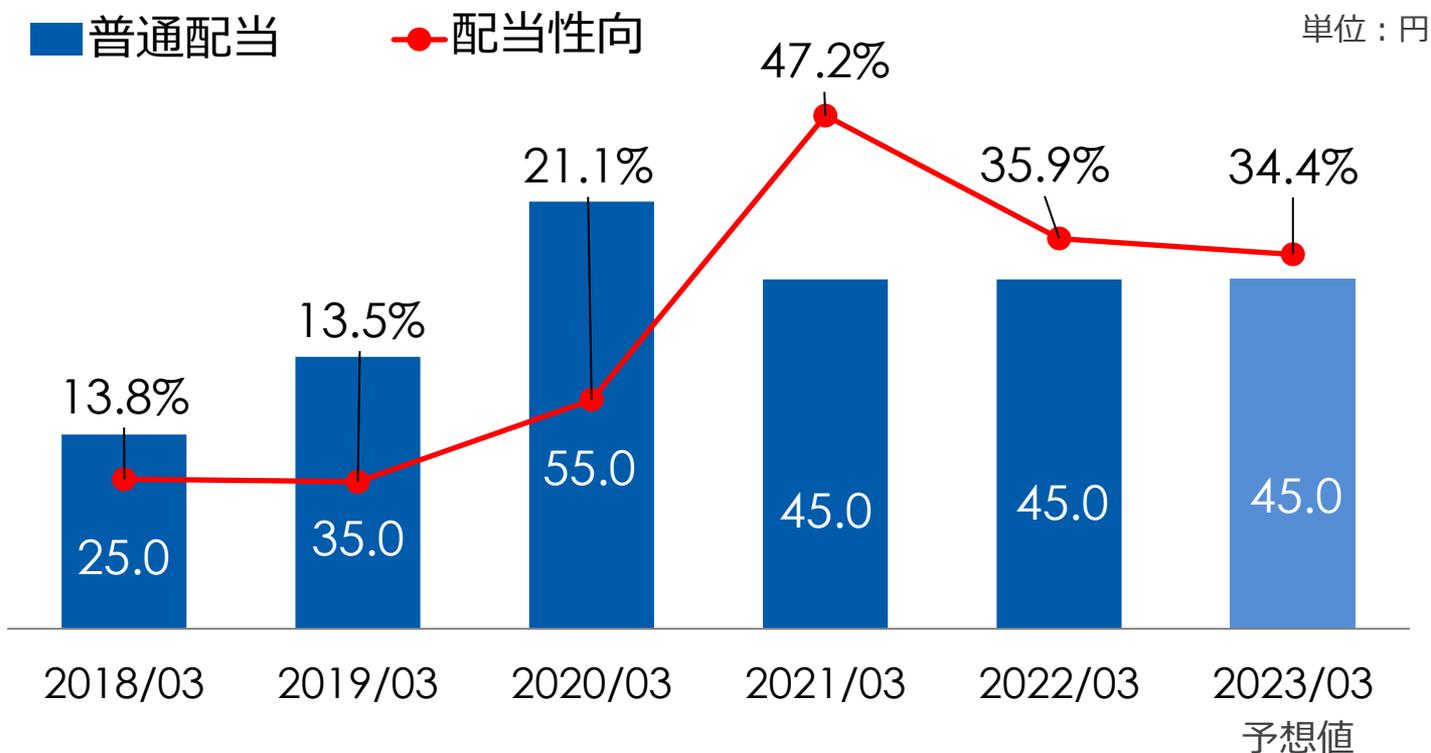


設備投資額・減価償却費の推移



単位：百万円





自己資本比率	26.5%	30.8%	36.1%	39.5%	43.3%	45.0%
有利子負債	104.1	82.6	49.2	57.7	60.0	49.0
実質有利子負債	86.2	65.2	48.6	31.1	36.7	34.0

単位：億円

アスベスト訴訟関係

裁判所の判決に基づき、訴訟損失引当金を計上しております

- ・当社に係る訴訟は、全国で20件提訴

最高裁判決 5件（損害賠償の支払い済）

高裁審議中 4件（うち1件、2022年5月30日 札幌1陣 高裁判決）

地裁審議中 11件

- ・訴訟損失引当金50百万円

2022年5月31日現在

2022年3月期連結業績および2023年3月期連結業績予想



単位：百万円

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	<p><今後の見通し></p> <p>(売上高) 新型コロナウイルス影響を受け延期となっていた工事の再開による受注増、製品の値上げ及び高付加価値製品の拡販等の施策を進める</p> <p>(利益) ・原材料（①ガス②電力③パルプ）の価格高騰による影響を及ぼすことが懸念される 昨年度の実績から45%UPを想定 ・今後の為替動向（円安）へも注視 ・効率化の推進による固定費削減</p>
売上高	35,923	40,000	
営業利益	1,440	1,600	
経常利益	1,563	1,600	
親会社株主に帰属する当期純利益	958	1,000	



中長期CSRビジョン(CSR2030) の取組状況

CSR2030の活動は、環境に配慮し、社会と共生し、ガバナンスを強化した、社会から信頼される企業であることを基本としています。環境の分野ではパリ協定に準じた温室効果ガスの削減を、社会の分野では女性管理職の育成等を、ガバナンスの分野では重大なコンプライアンス違反の根絶等、具体的な目標を設定しました。温室効果ガス対策には、今後15～20億円の設備投資を予定しています。また、SDGsの指標とリンクし、活動目標をより明確化しました。



CSR2030の位置づけ



CSR2030は、10年後である2030年度の当社グループのあるべき姿を見据えて策定しました。その第一ステップとして、2023年度までのあるべき姿を中期CSRビジョンとして設定し、2023中期経営計画と連携して活動を推進します。



- ・2030年度CO2排出量
2013年度比26%減
- ・2030年度埋立処分率5%以下
- ・2030年度コピー用紙
2020年度比60%削減
- ・環境配慮型製品化10品目

環境負荷の低減
産業廃棄物の削減
環境管理の徹底
環境配慮型製品の開発



環境



社会



- ・女性管理職10%以上
- ・有給休暇取得率70%
- ・対象者の在宅率30%以上
- ・重大な製品事故0件
- ・独禁法・下請法違反0件
- ・各事業場、生産拠点での年1回以上の社会貢献活動実施

従業員とともに
お客様とともに
ビジネスパートナーとともに
地域社会とともに



- ・ガバナンスコードの優先事項のピックアップおよび取り入れ
- ・全事業場でのBCP改善
- ・重大なコンプライアンス違反根絶
- ・社外取締役1/3以上の確保
- ・女性役員の選任

ガバナンスの強化
コンプライアンスの徹底
透明性の確保



ガバナンス



「環境」に対する取り組み

CO2排出量26%削減達成に向けて

- 当社グループのCO2排出量を2030年度までに2013年度比26%削減する

1. 生産工場における乾燥設備の更新・改良工事
2. ガスコージェネレーションシステムの設置
3. フォークリフトのバッテリータイプ比率向上
4. 重油使用設備のエネルギー転換
5. 太陽光発電を始めとする再生可能エネルギー使用比率向上
6. CO2回収技術等の情報収集および導入の検討

【投資額 15億円～20億円】

「社会」に対する取り組み

地域社会とともに

- 各事業場、生産拠点での地域社会との連携、社会貢献活動

事例紹介

1. 地域活動への参加・協賛
鶴見火災予防協会への参画を通じて30年にわたり交流をおこない
同協会より表彰



2. 環境での地域貢献
滋賀工場、(株)エーアンドエー大阪



3. 新型コロナウイルス感染症対策に向けた支援
本社、生産工場、生産子会社が所在する市区町に総額9百万円の寄付



「サステナビリティ」に対する取り組み

中長期CSRビジョンの進捗管理も含め、企業として戦略的に取り組むため
サステナビリティ推進委員会を設置

【8項目において取り組み目標を設定予定】

1. 環境管理
2. ダイバーシティ
3. 安全衛生
4. 地域コミュニケーション
5. 品質保証・新規開発
6. ガバナンス・コンプライアンス
7. ディスクロージャー
8. 各社のサステナビリティ経営



2023中期経営計画の進捗状況 (2021年度～2023年度)

＜ウィズ／アフターコロナの時代を生き抜くために＞

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当社グループの売上・利益は計画を大きく下回る結果となりました。

そこで、2023中期経営計画では、まずコロナ禍前の利益水準へ早期に回復することを目標の柱とします。これからの不確定な時代を生き抜き、この目標を達成するため、以下の計画指針に沿って戦略を策定し、実行していきます。

2023中期経営計画グループスローガン

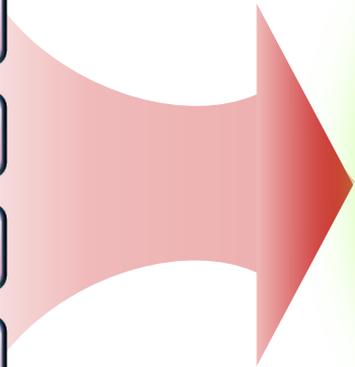
「次への飛躍を目指し、あらゆる生産性を向上する」

I. 事業とESGへの取組みの一体化に道筋をつける

II. 成長に向けた未来志向の事業戦略の推進

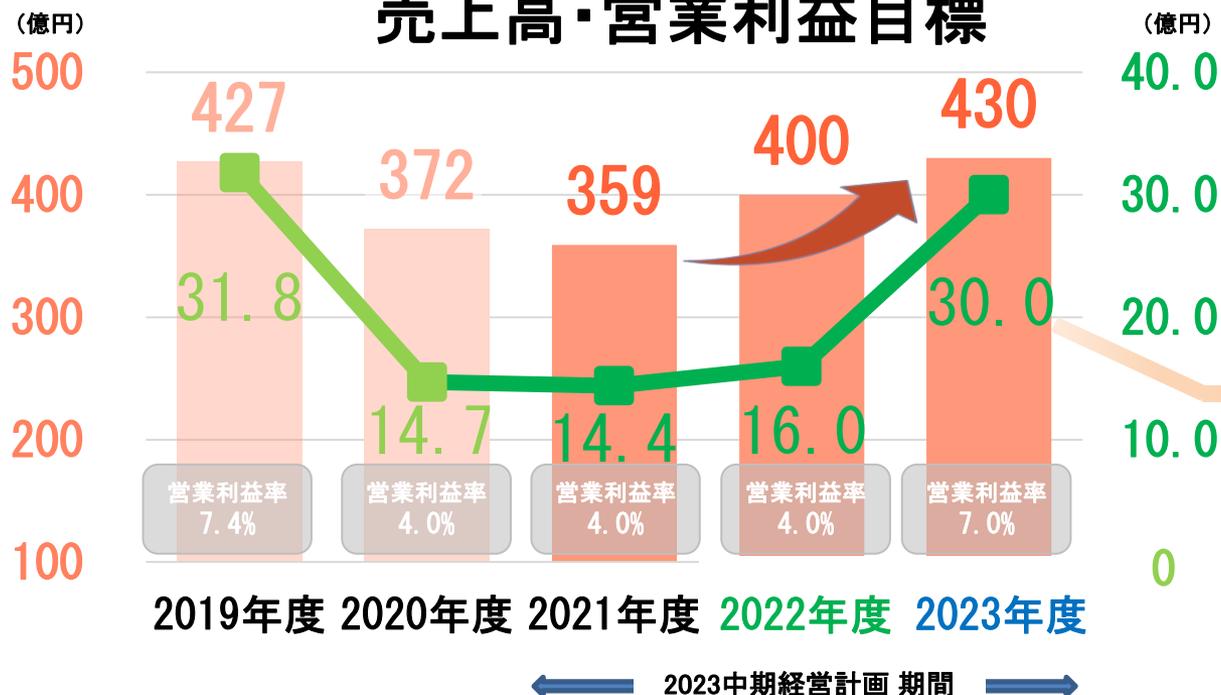
III. DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

IV. 従業員エンゲージメントの向上



CSR2030

売上高・営業利益目標



2023年度目標

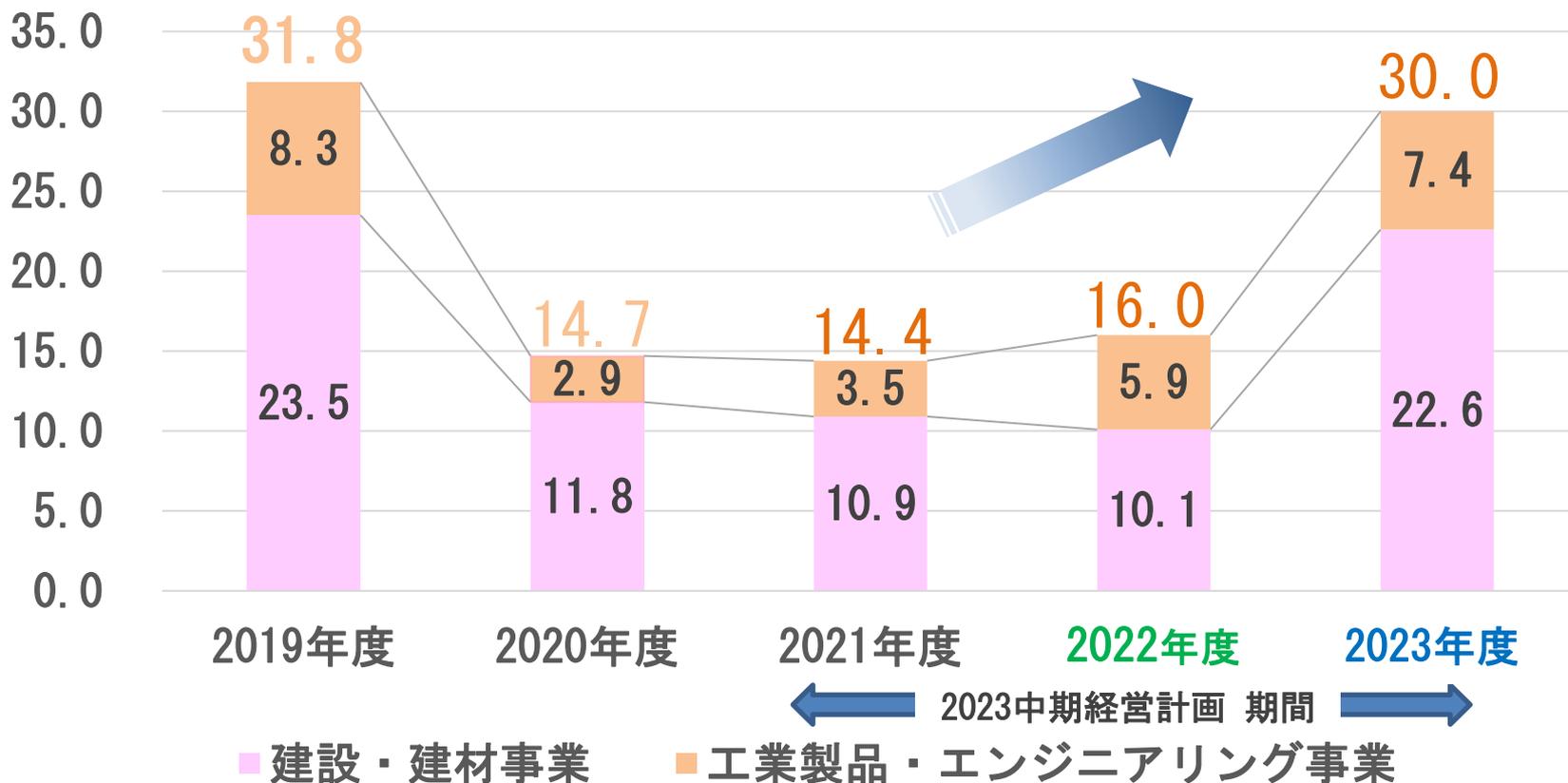
売上高 430億円
 営業利益 30億円
 営業利益率 7.0%
 自己資本比率 45%

■ 売上高 ■ 営業利益

※注) 2019～2021年度は実績値、2022年度は公表値、2023年度は計画値

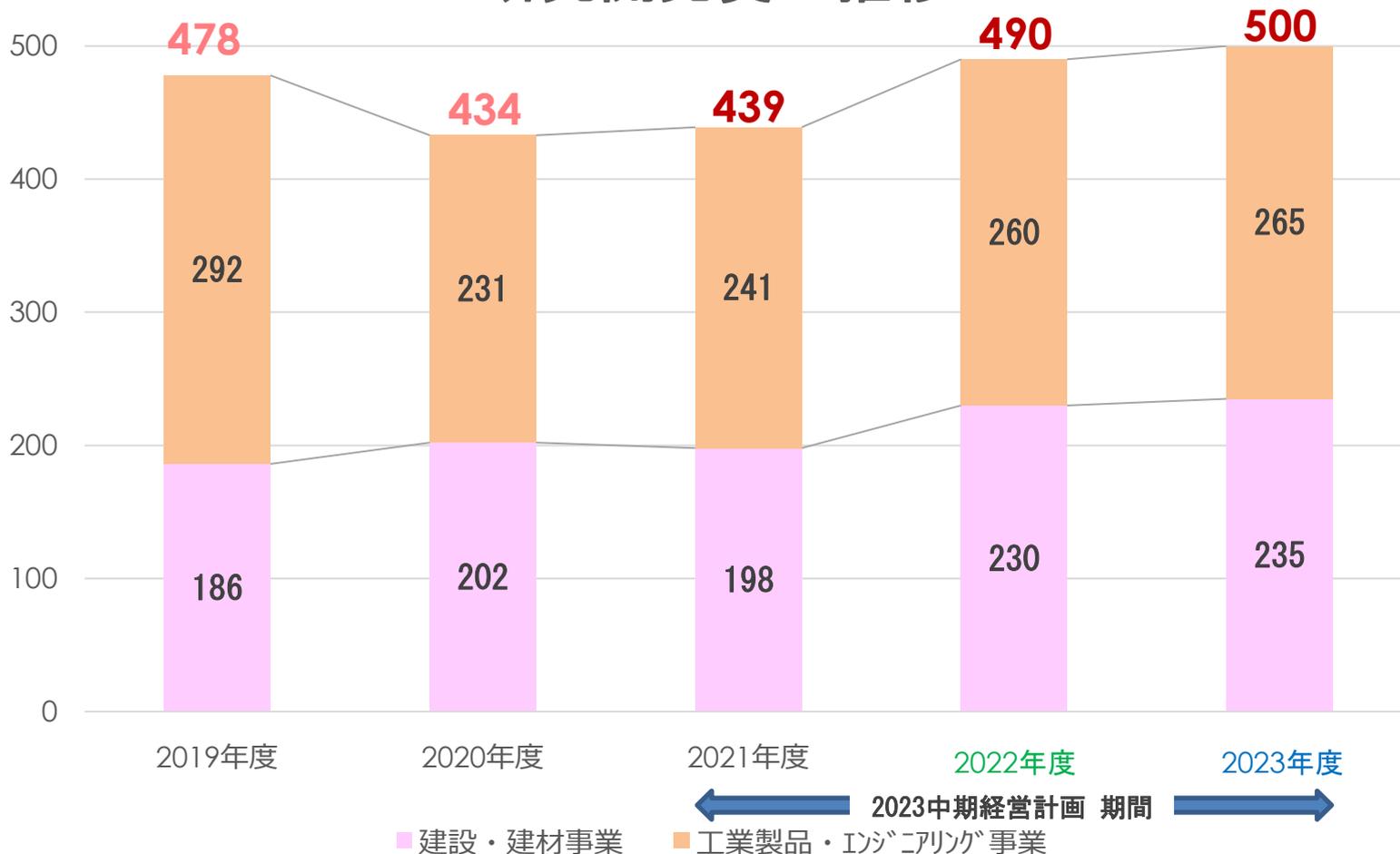
(億円)

事業別営業利益



※注) 2019～2021年度は実績値、2022年度は予想値、2023年度は計画値

研究開発費の推移



※注) 2019～2021年度は実績値、2022年度は予想値、2023年度は計画値

ステンドSpeed工法、施工範囲の拡大

- 20年11月より使用するテープを改良し初期接着強度が向上
- 内壁面に加え天井面や弊社けいカル素板面にも施工可能
- 施工時間を短縮、省力化、施工が簡単かつ施工精度が安定
- 弾性テープが地震力を軽減、部材を保護
- 従来の接着剤・仮止めテープ併用工法よりも廃棄物低減でCO2削減に寄与



- 今後、ニーズに則した高機能化粧板を開発し、化粧板と工法の拡販を推進

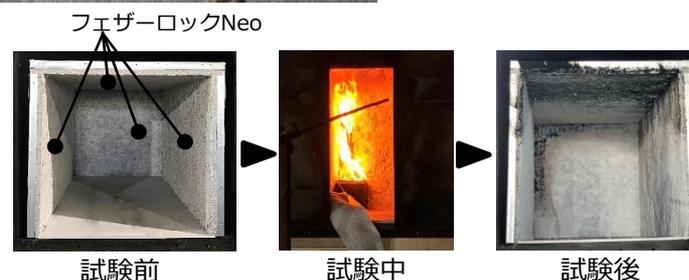
フェザーロックNeoの開発・販売

2020年に開発完了したフェザーロックNeo
優れた施工性と延焼防止性能、吸音率性能を確認して本格販売

- 完全無機の燃えない断熱材
- リサイクル資源、CO₂低排出量材料を使用したエコ材料
- グラスウール同等の吸音性



フェザーロックNeoの施工

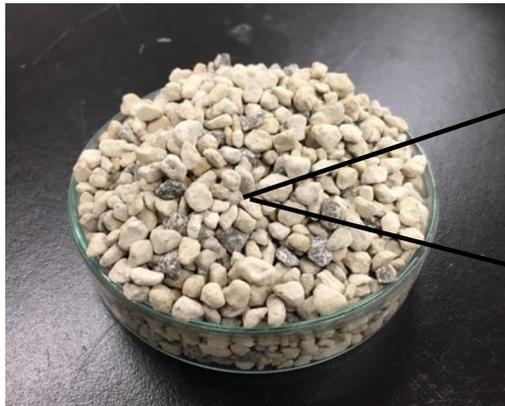


【模型箱試験：（一財）日本建築総合試験所】

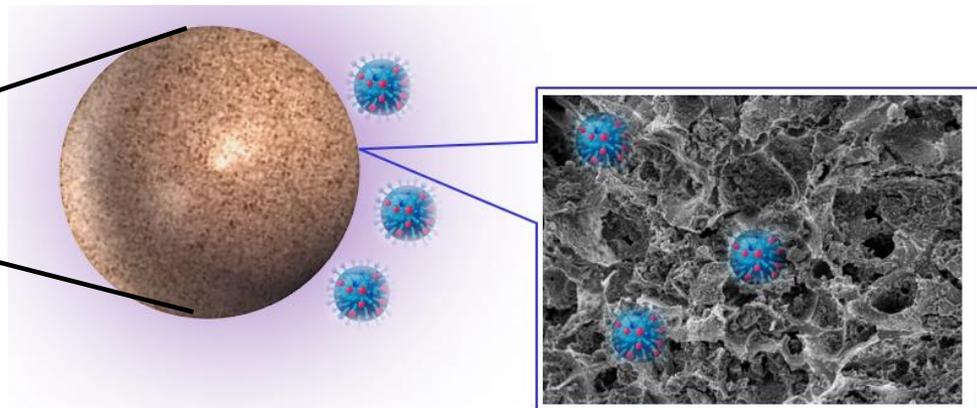
散布型除菌剤の開発

- ・弱酸性土壌との相性が良く動植物に優しい無機質のヨウ素系除菌剤
- ・景観を損なわない外観であり公園や動物園等に散布できる
- ・鳥インフルエンザウィルス、一般細菌、カビを除菌できる
- ・屋外でも除菌効果を長期間に渡って発揮できる

ヨドックス粒



鳥インフルエンザウィルスを除菌



LNG燃料タンク防熱工法の開発

工法開発は終了、国内大手船主殿より工法承認済み



本工法による「国内初の採用」を目指しております

(国内で新造する自動車運搬船にて計画中)

(搭載タンクイメージ図)



(イメージ写真)



(タンク表面に防熱施工 2基搭載)



CSR2030

**環境負荷低減
への投資**

- ・ ガスジェネレーションの導入
- ・ ボイラーの燃料転換

15～20億円

戦略的投資

- ・ 環境配慮型製品の開発
- ・ 生産効率の向上
- ・ 海外拠点の整備

6～8億円

**有利子負債
の削減**

20～25億円

株主還元

連結配当性向
30～40%

10～12億円



エーアンドエーマテリアルグループ経営理念

すべての
ステークホルダーから
信頼される企業として、
社会の安心と安全を
守ります。

人にやさしく、
地球にやさしい、
未来に続く快適な環境を
創造します。

情熱をもって
熱をコントロールする
技術を極め、
持続的発展を目指します。

私たちエーアンドエーマテリアルグループは、社標にこめた3つのCIカラー
信頼の青、環境の緑、情熱の赤、を経営理念の重要な柱として胸にきざみ、
グループの総力をあげて企業価値の向上に取り組んでまいります。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、株式会社エーアンドエーマテリアルが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、異なる結果となった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

(お問い合わせ先)

株式会社エーアンドエーマテリアル
総務部総務広報グループ

〒230-8511 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
TEL:045-503-5760
H P:<https://www.aa-material.co.jp>